

# 夏休み終了！！そして、秋季大会へ。

## <合宿>



新チームでの8泊9日の合宿が終了しました。チームが本当の意味でまとまっているのか、監督としてはそこをこの合宿を通して感じてほしかったところです。この人数でのこの戦力、この新チームで十勝を制するためには、選手間での本当の意味でのまとまりがなければ戦いになりません。監督の私が色々なことを許さないのではなく、選手間での人間関係（同級生との人間関係・先輩後輩との人間関係）で、勝手な人間を許さない、そんな雰囲気を選手中で作れるからこそ、この人数とこの戦力で戦いになるのです。まずは2年生同士の人間関係をしっかりしてほしいと思っています。

## <札幌遠征>

バスの故障もあり、5時間半かけて札幌に到着しました。初日の2試合ができなく対戦相手の高校には大変ご迷惑をおかけしました。申し訳ありませんでした。2泊3日、4試合の練習試合、この札幌遠征で何を感じてくれたでしょうか。監督の私の強制、監督の私の監視、このような環境でやる野球には限界があります。自分たちに預けられた時間、任されている時間、この時間をどう使うのか、何を意識するのか、何のための遠征・宿泊なのか、誰がそれをチームに浸透させるのか、見学旅行ではありません。家族旅行でもありません。リーダー役がまずは責任と自覚を持つことではないでしょうか。



## <旭川遠征>

夏休みは8泊9日の合宿から始まり、その後2泊3日の札幌遠征。今回の旭川遠征は宿泊を伴う夏休み最後の遠征です。ここで1つチームとして形のあるもの、根拠があるものを作り出さなければいけません。それはチームの課題、問題点でもかまいません。帯広に帰ってから何を修正するのか、何を課題に練習に取り組まなければいけないのか、そんなものがしっかりはつきり、選手自体が実感できなければいけないこの遠征です。このチームは誰のチームなのか、誰が先導役でこのチームを引っ張っていかなければいけないのか、そして、その先導役には技術的にも人間的にもそれにふさわしい力を本当に身に付けているのか、やらなければいけない人がやらなければ、誰かに負担が集中します。誰かにしわ寄せがいくのです。そうするとチームのバランスが悪くなりこのチームは沈没してしまいます。さあ！！この沈没する船を誰が救うのか、誰がチームを助けるのか、そのためにこの1年と4ヶ月があったことに今からでも遅くはありません。気づき、その力を身につけることです。普段の練習、生活で自分に打ち勝ち、その姿を監督の私に認めてもらい、自信を持って試合では対戦相手と戦うのです。そして、勝利をもぎ取るのです。この人数とこの戦力、監督の私からすると21人全員が戦力なのです！！



## <夏休み総仕上げの練習試合>

8月16日に夏休み総仕上げの練習試合を行いました。秋の大会本番を意識した上での練習試合です。選手には『この試合は公式戦同様、内容は問わない。結果重視！！まずは勝利しよう！！』と話しをしていました。結果は2対1で勝利しました。細かいことを言うと色々ありますが、まずは当初の目的であった『勝利する！！』ことを達成できました。合格点です。夏休みでやったことを信じる。1年と4ヶ月言われ続けてきたことを信じる。今やっていることを信じる。そして、結果はすぐには出ませんが、少しずつの変化を成長だと感じ、信じ継続することです。そこが21人のかみ合いです。色々な誘惑、声かけ、邪念はありますが、21人でやっているこのかみ合いを大切にすることです。監督の私は1年と4ヶ月一緒に野球をやってきた2年生に期待したい！！今も変わらず私は2年生を信用したいと思っています。そのための朝から晩まで一緒に過ごした1年と4ヶ月があったのです。

